

2022年度 公益社団法人 日本栄養士会 定時総会のご案内

公益社団法人日本栄養士会

〒105-0004

東京都港区新橋5-13-5新橋MCVビル6階

TEL:03-5425-6555 FAX:03-5425-6554

<https://www.dietitian.or.jp/>

* 日本栄養士会ホームページ おしらせ より
ログインしてご覧ください。

2022年度 公益社団法人 日本栄養士会 定時総会 開催通知

2022年6月1日

代議員・会員各位

公益社団法人日本栄養士会
会 長 中村 丁次

日 時 2022年6月26日(日) 午後1時から午後5時まで

場 所 アットビジネスセンター東京駅八重洲通り(本部会場:東京都中央区八丁堀1-9-8 八重洲通
ハタビル6階)と各都道府県栄養士会の会場(分散会場)とをテレビ会議技術で結んだ連携会場

構成員 代議員

総会議題

- 第1号議案 2021年度事業報告、貸借対照表、損益計算書(正味財産増減計算書)、財産目録承認の件
- 第2号議案 理事選任の件
- 第3号議案 役員報酬承認の件
- 第4号議案 名誉会員承認の件

日 程

6月26日(日)

- 12:00~13:00 入室
- 13:00~13:20 開会
会長挨拶
議長団選出・議事録署名人選出・書記団指名・会議運営委員指名
総会成立宣言
- 13:20~14:00 第2号議案 理事選任の件 (提案・選任決議)
- 14:00~15:00 第1号議案 2021年度事業報告、貸借対照表、損益計算書(正味財産増減計算書)、
財産目録承認の件 (提案説明・討論・採決)
- 15:00~15:20 第3号議案 役員報酬承認の件 (提案説明・討論・採決)
- 15:20~15:30 第4号議案 名誉会員承認の件 (提案説明・討論・採決)
- 15:30~15:50 休憩
- 15:50~16:20 協議事項 2022年度事業執行計画、予算について(説明・質疑応答)
- 16:20~16:30 宣言(案)採択
- 16:30~17:00 第2号議案 理事選任の件(選任決議報告)
- 17:00 閉 会

※ 議事の進行状況により、時間は前後する場合がございます。

【お願い】

新型コロナウイルス感染防止に係る定時総会運営について

1. 上記議案の内容は「総会資料」（ホームページ会員限定ページに掲載します。代議員には、別途郵送します。）をご覧ください。

新型コロナウイルスの感染リスクの懸念が拭える見通しがございませんので、今年度の代議員の議決権の行使については、書面（議決権行使書）による議決権の行使をお願いいたします（定款第22条第2項）。なお、議決権行使書の提出は、下記のとおりお願いします。

議決権行使書は、2022年6月20日（月）までに所属都道府県栄養士会へ提出してください。各都道府県栄養士会は、代議員の議決権行使書を2022年6月24日（金）午後5時45分までに日本栄養士会に提出してください。

2. 定時総会は、都道府県栄養士会ごとに設けた会場（分散会場）と日本栄養士会の設置会場（本部会場）とをテレビ会議技術を使って結びつける方法により実施します。分散会場は都道府県栄養士会の会場だけでなく、各代議員が個人のパソコン等でWeb会議システムに入室する場合も含まれます。

代議員は書面による議決権行使をされましても、定時総会を視聴すること、質問をすることはできます。視聴の方法（Zoom URL）については、追ってご連絡いたします。

※ 2022年度公益社団法人日本栄養士会 賛助会員会総会につきましては、追ってご連絡いたします。

公益社団法人日本栄養士会理事候補者について

2022年6月1日

代議員各位

公益社団法人 日本栄養士会
選任決議管理委員長 小川 紀明

2022年4月1日付けで、日本栄養士会ホームページ等で告示をした理事選任総会決議について立候補がありました。

2022年4月28日に選任決議管理委員会を開催し、候補者の資格審査を行いました。その結果、別表のとおり理事候補者を決定したので、役員選任総会決議にかかる手続規程第17条第1項に基づき告示します。

1. 一般理事選任決議分野候補者（届出順）

No.	氏 名	都道府県	職 域	備 考
1	西岡 心大	長崎県	医療	
2	濱田 美紀	大分県	福祉	
3	渡邊 啓子	福岡県	研究教育	
4	西村 一弘	東京都	医療	
5	赤尾 正	大阪府	研究教育	
6	下浦 佳之	兵庫県	地域活動	
7	阿部 絹子	群馬県	公衆衛生	
8	渡邊 潤	静岡県	医療	
9	斎藤 トシ子	新潟県	研究教育	
10	加藤 すみ子	福島県	福祉	
11	中村 丁次	神奈川県	研究教育	
12	岡本 智子	北海道	研究教育	
13	鈴木 志保子	神奈川県	研究教育	

2. 職域理事選任決議分野候補者（届出順）

No.	氏 名	都道府県	職 域	備 考
1	佐野 ちえみ	静岡県	地域活動	地域活動から推薦あり
2	新井 英一	静岡県	研究教育	研究教育から推薦あり
3	原 純也	東京都	医療	医療から推薦あり
4	中田 智子	栃木県	学校健康教育	学校健康教育から推薦あり
5	元家 玲子	愛媛県	福祉	福祉から推薦あり
6	諸岡 歩	兵庫県	公衆衛生	公衆衛生から推薦あり
7	國分 葉子	東京都	勤労者支援	勤労者支援から推薦あり

公益社団法人日本栄養士会理事選任総会決議の方法について

2022年6月1日

代議員各位

公益社団法人 日本栄養士会
選任決議管理委員長 小川 紀明

公益社団法人日本栄養士会定款第21条第1項、第3項および役員選任総会決議にかかる手続規程第6条から第19条までに基づき、総会会場にて理事の選任に関する選任決議を次の分類ごとに行います。

1. 一般理事選任決議分野候補者 13名 総会会場で選任の可否を問う選任決議を行います。
2. 職域理事選任決議分野候補者 7名 総会会場で選任の可否を問う選任決議を行います。

＝＝＝＝＝選挙公報＝＝＝＝＝

◆各候補者から届出のあった事項を公報します。

(各候補者から提出のあった公報原稿を、そのまま掲載します。)

1. 一般理事選任決議分野候補者
2. 職域理事選任決議分野候補者

1. 一般理事選任決議分野候補者

◎ 一般 理事選任決議 分野候補者		※	ふりがな	にしおかしんた	性別	男・女	
		届出番号	1	氏名	西岡心大 (満42歳)		
		勤務先	名称 一般社団法人是真会長崎リハビリテーション病院 〒 850-0854 長崎県長崎市銀屋町4-11 TEL 095-818-2002				
		所属都道府県 栄養士会	長崎県 栄養士会	会員 番号	0 4 2 0 2 0 0 6	所属職域	医療
職歴 業績 抱負	【職歴】 2002-2005年 国立病院・療養所 2005-2009年 近森リハ'リ-ション病院栄養科 2009-2011年 近森病院臨床栄養部 主任 2011-2018年 長崎リハ'リ-ション病院教育研修部 2012-現在 同 栄養管理室室長(兼) 2018-2022年 同 法人本部人材開発部副部長(兼) 2022-現在 同 法人本部教育研修部副部長(兼) 2021-現在 藤田医科大学医学部客員講師(兼) 2021-現在 徳島大学大学院専門研究員(兼) 【業績】 2017年 日本病態栄養学会 清野裕賞 2018年 日本静脈経腸栄養学会 フェロ-シップ賞 ・ 2019年 日本栄養士会 84 selection 2021年 Best Reviewer Award 2020, Geriatrics & Gerontology International 2021年 Poster Presentation Award, the 2nd World Dysphagia Summit ・ 【会員・役員歴】 2006-現在 日本栄養士会 2016-現在 Academy of Nutrition and Dietetics: Evidence Analysis Library Workgroup (2020-) 2011-現在 回復期リハ'リ-ション病棟協会:理事/副栄養委員長 (2021-)/保険調査委員 (2019-) 2017-現在 日本リハ'リ-ション栄養学会:理事/代議員/編集委員長/診療ガイドライン委員/教育委員/研究調査委員/管理栄養士部会委員 (2017-)/国際委員 (2019-) 2004-現在 日本臨床栄養代謝学会:代議員 (2018-)/学術評議員 (2014-)/臨床栄養コンセンサス検討委員 (2019-)/国際教育WG委員/栄養士管理栄養士部会委員 (2021-) 2016-現在 日本カッベニア・フレイル学会:評議員 (2020-) 2012-現在 European Society for Clinical Nutrition and Metabolism 2003-現在 日本病態栄養学会 2016-現在 日本摂食嚥下リハビリテーション学会 2017-現在 日本臨床疫学会						
	病院管理栄養士として栄養サポートの臨床、教育、管理に約20年従事し、特に回復期リハビリテーション病棟における管理栄養士の役割の確立、エビデンスの発信に尽力し、平成30年度および令和2年度診療報酬改定における回復期専任管理栄養士配置の義務化に貢献してきた。また、2014年に欧州臨床栄養代謝学会 (ESPEN) Diplomaをコメディカルとして初めて取得し、2020年からは米国栄養士会 (AND) Workgroup のメンバーとして国際標準の栄養管理の潮流や、エビデンスに基づく栄養ケアを構築することの重要性を学んだ。これらの経験を通じて、急性期、回復期、生活期に至る全てのステージにおいて栄養障害を予防・改善するためには適切な栄養ケアを提供する体制づくりが不可欠であり、そのためには栄養士・管理栄養士の専門性の分化・深化と連携、実践環境の整備、臨床研究を通じたエビデンスの発信が急務であることを痛感した。 理事に選出された際には、主に医療分野を中心とした栄養士・管理栄養士の栄養ケア技術の高度専門化、対象者中心の栄養ケアを実践するための職種内外の連携の促進、エビデンスに基づく栄養ケアと実践に基づく研究の推進による栄養管理の科学的基盤創出に尽力したい。これにより現場の栄養士・管理栄養士が働き甲斐を感じられる環境を醸成するとともに、社会の要請に応えられる栄養専門職としての栄養士・管理栄養士の育成に寄与したい。そのため、研究教育センター事業への従事を希望する。						

◎ 一般 理事選任決議 分野候補者		※	ふりがな	はまだみき	性別	男・女	
		届出番号	2	氏名	濱田美紀 (満54歳)		
		勤務先	名称 介護保険総合福祉センター メルヘン 〒 879-4601 大分県玖珠郡九重町大字右田3156-7 TEL 0973-76-2600				
		所属都道府県 栄養士会	大分県 栄養士会	会員 番号	0 4 4 0 1 8 8 7	所属職域	福祉
職歴 業績 抱負	【職歴】 ・ 1987年～1989 伊藤内科クリニック ・ 1989年～1996 (医) 百花会 上野公園病院 ・ 1996年 介護保険総合福祉センターメルヘン 現在に至る 【業績】 ・ 2020年 8月 厚生労働大臣表彰 (栄養改善) 【会員・役員歴】 1991年 3月 5日 ・ 日本栄養士会・大分県栄養士会入会 2009年～2019年 大分県栄養士会理事 現在 ・ (公社) 日本栄養士会介護報酬改定ワーキングメンバー ・ (公社) 日本栄養士会栄養ケア・ステーション事業推進 委員						
	管理栄養士と主任介護支援専門員の資格を活かし、在宅高齢者の生活の質の向上を目指してきました。介護保険制度の中で管理栄養士が在宅生活の支援にどのように働きかければよいかを大分県をはじめ、多くの県の管理栄養士に伝えてきました。(公社) 日本栄養士会の「よりソリプロジェクト」のメンバーとして参加し、自立支援型地域ケア会議へ多くの管理栄養士が参加していただけるように事例集などの作成に参加しました。大分県の地域包括ケアシステムの構築のため、多職種と協働し、通所介護・訪問介護の自立支援マニュアルの作成委員として参加しました。昨年度は住民が自分達の手で元気になるための住民用マニュアルの作成に携わりました。今後活動したい内容は○地域包括ケアシステムの中で地域住民をはじめ、他職種からも必要とされる管理栄養士・栄養士になるために管理栄養士・栄養士の質の向上に努めたい。○地域ケア会議や地域活動等において生活に添った助言ができる管理栄養士・栄養士の育成に努めたい。○栄養ケアステーション事業部に関わり、機能型栄養ケアステーションを盛り上げ、全国の方に管理栄養士・栄養士を身近に感じてもらえるようにしたい。○都道府県栄養士会と日本栄養士会がよりスムーズに意見交換し、互いに同じ方向に進む関係を深めたい。これまでの経験を活かし、理事として会の運営に貢献したい。						

◎ 一般 理事連任決議分野候補者		届出番号	※ 3	ふりがな	わたなべけいこ	性別	女
		氏名	渡邊啓子 (満64歳)				
		勤務先	名称 学校法人 中村学園大学 〒 814 -0198 福岡県福岡市城南区別府5丁目7-1 TEL 092-851-5964				
	所属都道府県 栄養士会	福岡県栄養士会	会員番号	0 4 0 1 1 5 1 1	所属職域	研究教育	
職歴 ・ 業績 ・ 会員・役員歴	【職歴】 1978年4月～2018年3月 公立学校共済組合九州中央病院 2018年9月～現在 学校法人 中村学園大学 【業績】 平成22年9月 福岡県知事感謝状 平成27年9月 厚生労働大臣表彰(栄養改善) 平成29年7月 JADEC Award for Excellent Daibetes Educator in Daiettian 日本糖尿病協会 【会員・役員歴】 昭和53年5月(1978年5月) 日本栄養士会・福岡県栄養士会入会 平成12年4月～現在 福岡県栄養士会理事 (2000年4月) 平成14年～22年 全国病院栄養士協議会九州地区幹事 (2002年～2010年) 平成22年～令和2年(2010年～2020年) 日本栄養士会医療事業部企画運営委員副委員長 令和2年(2020年)～現在 日本栄養士会九州地区担当理事・人材育成事業部長 平成28年4月(2016年)～現在 福岡県医療審議会委員 平成30年5月(2018年)～現在 日本糖尿病療養指導士 認定機構理事 平成30年5月(2018年)～現在 福岡市地域包括ケアシステム推進会議専門部会委員 2019年4月～2023年3月末日 日本病態栄養学会病態栄養専門管理栄養士委員会委員		約20年間医療事業部役員として、管理栄養士の社会的評価としての診療報酬要望にかかわってきた。要望のための基礎資料として全国病院部門実態調査を実施、データの蓄積に貢献した。長期にわたる医療事業部門運営にかかわり管理栄養士のボトムアップの必要性を痛感したことを機に、この2年間は、生涯教育の充実や人材育成の構築の一翼を担ってきた。現在各種認定が拡充する中で、さらなる体制整備と、専門分野の人材育成は診療報酬、介護報酬においても喫緊の課題となっている。管理栄養士・栄養士の社会的評価の確立と専門性の追求、社会的地位の向上をめざし、会員のスキルアップ、資質の担保を担うべく、日本栄養士会の組織拡充と活性化に貢献したい。また、社会における医療・介護情勢のなかでの日本栄養士会の役割を確立し、地域包括ケアシステムにおける栄養管理体制構築にむけた管理栄養士・栄養士業務を広く内外に認識・確立するために尽力したい。 卒後教育の生涯教育体制を確立し、存在感のある管理栄養士人材育成に貢献するために立候補した。				
	立候補の抱負						

◎ 一般 理事連任決議分野候補者		届出番号	※ 4	ふりがな	にしむらかずひろ	性別	男・女
		氏名	西村一弘 (満61歳)				
		勤務先	名称 駒沢女子大学 〒 206-8511 東京都稲城市坂浜238番地 TEL 042-350-7233				
	所属都道府県 栄養士会	東京都 栄養士会	会員番号	0 1 3 0 3 9 5 4	所属職域	医療	
職歴 ・ 業績 ・ 会員・役員歴	【職歴】 1982年3月社会福祉法人緑風会緑風荘病院入職 1996年4月老人保健施設グリーン・ボイス主任兼務 平成15年9月東京家政学院大学非常勤講師兼務 2004年4月緑風会健康推進部主任兼務 平成27年4月駒沢女子大学人間健康学部入職 【業績】 2005年6月NPO法人西東京臨床糖尿病研究会功労賞 2006年5月東京都栄養士会永年会員表彰 2008年11月東京都糖尿病協会個人功績賞表彰 2015年10月東京都知事賞表彰 【会員・役員歴】 会員歴 1996～2022年日本栄養士会、東京都栄養士会 役員歴(東京都栄養士会) 2005年～2022年 医療部会役員 2012年～2016年 医療事業部企画運営委員長 2012年～2022年 理事 2016年～2022年 代表理事会長 役員歴(日本栄養士会) 2006年～2008年 医療事業部幹事 2008年～2012年 同常任幹事 2012年～2016年 同副委員長 2008年～2020年 理事(京浜地区担当、栄養ケア・ステーション事業部副部長など) 2020年～2022年 常任理事(地域連携部長)		私はこれまで7期14年間日本栄養士会の理事・常任理事として、厚生労働省の栄養ケア活動整備事業(よりそいプロジェクト、共食の場における配食サービス活用事業など)の運営委員や評価委員、東日本大震災の被災地支援やJDA-DAT研修会の立ち上げ、認定栄養ケア・ステーション制度の確立、診療報酬改定と診療報酬・介護報酬同時改定委員、令和3年度介護報酬改定データベースワーキング委員長、日本栄養士会教育センター立ち上げ準備会の委員、京浜地区担当理事などを歴任して、管理栄養士・栄養士の様々な制度作りに携わらせていただきました。 また、超高齢社会において限りある財源の中で管理栄養士・栄養士には、国民の健康長寿を支えるために多大な期待をされ、私も厚生労働省における高齢者の保健事業におけるあり方検討会、介護予防マニュアル改定会議、LIFEフィードバック検討会議などの委員を拝命し、栄養士会を代表する意見を述べても頂いています。 今後も管理栄養士の地位向上、管理栄養士・栄養士が活躍できる仕組みづくりに尽力したいと思いますので、宜しくお願い致します。				
	立候補の抱負						

◎ 一般 理事選任決議分野候補者		届出番号	※ 5	ふりがな	あかお ただし	性別	男・女
		氏名	赤尾 正 (満55歳)				
		勤務先	名称 大阪樟蔭女子大学健康栄養学部健康栄養学科 〒 577-8550 大阪府東大阪市菱屋西4-2-26 TEL 06-6723-8181				
	所属都道府県 栄養士会	大阪府 栄養士会	会員 番号	0 2 7 0 4 2 8 7	所属職種	研究教育	
職 歴 ・ 業 績 ・ 会 員 ・ 役 員 歴	【職歴】 1989年～2003年 徳洲会野崎病院 栄養科 (2002年～2005年 栄養室長) 2003年～2005年 松原徳洲会病院 栄養科 (1998年～2005年 医療法人徳洲会グループ 栄養部会 副部長) 2005年～2010年 大阪薫英女子短期大学 専任講師 2010年～2015年 大手前栄養専門学校 准教授 2015年～2017年 大手前大学 准教授 2017年～現在 大阪樟蔭女子大学 准教授 【業績】 2015年 日本栄養士会会長表彰 2017年～現在 日本給食経営管理学会 理事長 (2022年4月～ 一般社団法人) 【会員・役員歴】 1990年～現在 日本栄養士会 会員 1993年～2001年 大阪府栄養士会 理事						
	管理栄養士・栄養士の活躍する地域・職域は幅広く、1～3次予防に関わり、多様な方への日常的な食のサポートが重要と考えます。 また、グローバル化の進む現代社会において、世界の流通・経済・社会を理解し、クライアントに対して持続可能な栄養・食サービスの構築が求められます。 そのためには、少子高齢化が進む各地域の課題を解決するため、各種情報や産業発展、IoT、AI等の進歩を正確に理解し、適切に活用する必要性を感じております。 以上より、3点を中心にできる限り力を尽くしたいと考えております。						
	立 1. 産官学の連携強化 保健・医療・福祉・教育関連の枠を超えた様々な企業や学協会、行政機関との連携強化を目指します。 の 2. 管理栄養士・栄養士の資質向上 「健康な毎日」の実現に貢献するための事業を推進します。 負 3. 管理栄養士・栄養士の社会ニーズに沿った養成変化する社会ニーズと推進する事業のリンクを目指します。						

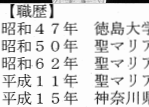
◎ 一般 理事選任決議分野候補者		届出番号	※ 6	ふりがな	しもうら よしゆき	性別	男
		氏名	下浦 佳之 (満63歳)				
		勤務先	名称 公益社団法人日本栄養士会 〒 105-0004 東京都港区新橋5-13-5 新橋MCVビル6階 TEL 03-5425-6555				
	所属都道府県 栄養士会	兵庫県 栄養士会	会員 番号	0 2 8 7 0 1 7 5	所属職種	地域活動	
職 歴 ・ 業 績 ・ 会 員 ・ 役 員 歴	【職歴】 1981年 兵庫県立光風病院 給食課 1990年 兵庫県立尼崎病院 給食課 主任 1994年 兵庫県福祉部地域福祉課 監査指導係 主査 2000年 兵庫県立こども病院 栄養指導課長 2008年 兵庫県立加古川病院 次長兼栄養指導課長 2009年 兵庫県立加古川医療センター 同 2012年 兵庫県立がんセンター 栄養管理部次長兼栄養管理課長 2016年 兵庫県立尼崎総合医療センター 同役職 2017年6月30日附 兵庫県職員退職 【会員・役員歴】 会員歴：1981年～現在 (41年) 日本栄養士会役員歴： 日本栄養士会理事(理事8期 2006年～現在) 常務理事 (2014年～現在) 2017年7月より常勤 日本栄養士会災害支援チーム (JDA-DAT) 総括 (2012年～現在) 栄養ケア・アクション推進・事業部長 (2010年～2013年) 学術情報部長 (2008年～2009年) 生涯学習検討会委員長 (2006年～2007年) 兵庫県栄養士会役員歴： 兵庫県栄養士会 副会長 (2012年～現在) 栄養ケア・アクション委員長・生涯学習委員長他・兵庫県小児保健協会理事 【講師等】 神戸学院大学客員教授 【学会等】 特定非営利活動法人 日本栄養改善学会理事 公益財団法人 国際医療技術財団 JIMTEF災害医療研修委員会委員 兵庫県小児保健協会理事						
	新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) が猛威を振る中、新たな生活様式への変更等、我々を取り巻く環境の大きな変化に伴い、その活躍の場や求められる役割も変化しています。 今期はACD2022の開催や東京栄養サミット2021における日本栄養士会のコミットメントの達成に向けた具体的な取組等、国際関係のイベントがあり、継続課題に対しても適切に対応することが求められています。 管理栄養士・栄養士の職能団体である日本栄養士会においても、我々の存在意義や方向性、役割等について、対外的なメッセージを発信させていくことが重要であると考えています。そのために、今、何ができるのか、何をしなければならないのかといった方向性を明確に示し、会員の皆様とアジェンダを共有しつつ、国民に対して、栄養と食事の専門職としての役割を果たす必要があります。 今回の理事立候補に当たり、取組むべき大きな3つの重点項目への対応を推進していきます。 1. コロナ禍における新たな生活様式に対応した管理栄養士・栄養士の役割の明確化と人材の育成に向けた取組 2. 地域の栄養ケアを担う拠点としての栄養ケア・ステーションの拡充に向けての取組 3. 東京栄養サミット2021における当会のコミットメントの達成に向けての取組 以上の取組への推進を図るために、様々な事業を展開していくとともに、これまでの事業の見直し等を実施し、適切な会務の運営に努めます。 また、専務理事としての職務についても責務を果たす所存です。						
	立 候 補 の 負						

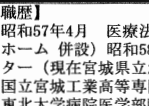
◎ 一般 理事選任決議分野候補者		届出番号	※ 7	ふりがな	あべ きぬこ	性別	男・女
		氏名	阿部 絹子 (満62歳)				
職歴・業績・会員・役員歴	勤務先	名称 〃					
	TEL	— —					
	所属都道府県 栄養士会	群馬県 栄養士会	会員番号	0100745	所属職域	公衆衛生	
職歴・業績・会員・役員歴	【職歴】		2021年12月に東京栄養サミットが開催されました。栄養は、個人の健康と福祉の基盤であるだけでなく、活力ある持続可能な社会を実現するために必要不可欠なものです。世界の栄養課題の撲滅に向け、誰一人取り残さない栄養政策の推進のため、本会も重要な役割を担って行くことになります。さらに、東京栄養サミットで発表した本会のコミットメントを実現し、栄養の力で、人々を健康に幸せにするためには、本会の執行部には新たな日本の栄養政策・栄養行政・栄養改善に対応できる組織力が求められています。				
	【業績】		また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大・長期化による経済格差に伴う栄養格差をはじめ、新たな栄養課題に直面しており、こうした課題に対応するためには、栄養だけでなく、多様な職種・ステークホルダー等と連携した取り組みも期待されており、本会の執行部の果たす役割も拡充していくことが必要となります。さらに、栄養課題の解決には、全国の都道府県栄養士会との連携・協働により、地域の特性に応じた取り組みが益々重要となると考えます。				
職歴・業績・会員・役員歴	【会員・役員歴】		しかし、本会の会員である管理栄養士・栄養士の社会的な地位や評価等には、今だに課題が多く、特に医療・介護・保育の領域における収入増加の実現等の処遇改善に向けた取り組みを進めていく必要があります。				
	1983年4月 群馬県職員（入庁） ～平成3年3月 沼田保健所・中之条保健所 1991年4月～1997年3月 衛生環境部 保健予防課・健康長寿課 1997年4月～2002年3月 利根保健所・渋川保健所 2002年4月～2006年3月 教育委員会保健体育課 2006年4月～2009年3月 渋川保健福祉事務所 2009年4月～2010年3月 食品安全局衛生食品課 2010年4月～2014年3月 食品安全局食品安全課 2014年4月～2020年3月 健康福祉部保健予防課 2020年4月～2022年3月 利根沼田保健福祉事務所		このようなことから、行政栄養士として培った知識、本会の職域理事担当理事、一般理事、そして、県栄養士会理事としての経験を活かし、本会の執行部の新たな課題に尽力、貢献するため、常務理事に立候補いたします。				

◎ 一般 理事選任決議分野候補者		届出番号	※ 8	ふりがな	わたなべ じゅん	性別	男・女
		氏名	渡邊 潤 (満59歳)				
職歴・業績・会員・役員歴	勤務先	名称 浜松医科大学医学部附属病院栄養部					
	TEL	〒431-3192 静岡県浜松市東区半田山1-20-1 TEL053-435-2612					
	所属都道府県 栄養士会	静岡県栄養士会	会員番号	02201709	所属職域	医療	
職歴・業績・会員・役員歴	【職歴】		令和4年度の診療報酬改定では、栄養管理や養食指導に関する診療報酬の新設や要件の緩和など、私たちにとって数多くのプラス改定が実現しました。これは栄養士・管理栄養士業務の重要性について、社会における認知度が年々高まっていることを反映した結果であると思われます。診療報酬上の評価の向上は私たちの活躍の機会を増やすことに繋がります。栄養士・管理栄養士の活躍の場をさらに広げて、国民の健康に益々寄与できるような事業の推進に尽力していきます。				
	【業績】		また、近年は地震・台風・豪雨などによる局地的な自然災害が全国各地で頻発しています。これに加え、コロナ禍による行動制限により地域・県境を跨いで災害支援が困難になるなど、JDA-DATの活動について新たな課題が浮き彫りとなりました。局地的に発生する災害に対して、各都道府県栄養士会が機動力を持って対応できるような仕組み作りに取り組んでいきたいと思っています。				
職歴・業績・会員・役員歴	【会員・役員歴】		立候補の抱負				
	会員歴 1992年～現在 役員歴 2018年～現在 静岡県栄養士会理事 2018年～現在 日本栄養士会理事						

◎ 一般 理事 連任 決議 分野 候補者		届出番号	※ 9	ふりがな 氏 名	さいとうとしこ 齋藤トシ子 (満67歳)	性別	女	
		勤務先	名称 新潟大学大学院医歯学総合研究科環境予防医学分野 〒 951-8510 新潟市中央区旭町通1-757 TEL 025-227-2124					
		所属都道府県 栄養士会	新潟県 栄養士会	会員 番号	0 1 5 0 3 0 2 3	所属職域	研究教育	
		【職歴】	以前からテレワーク（ICT等を活用した、場所や時間にとらわれない柔軟な働き方）の必要性が指摘されていましたが、コロナ禍で一気に普及し、今や、全栄養士会や会員が所属する職場がテレワークを導入しているのではないかと思います。テレワークによって、日本栄養士会の理事、関係者、事務職員の方々は、時代の流れ（働き方改革）とは逆に、時間外労働が大幅に増えたのではないかと思います。増えたことにより、大きなメリットもありました。メリットは、「管理栄養士・栄養士の専門性の維持・向上、専門職としての待遇や利益を保持・改善、専門職の団結による社会貢献活動を行うための組織」として、これから何を行えばよいのかなど、多くの関係者と議論を進めることができたという点です。近年の介護報酬改定、診療報酬改定などでは、管理栄養士・栄養士の活動が大きく認められて、画期的な改定がなされていますが、この背景は、介護現場及び医療現場の管理栄養士・栄養士の方々の日ごろの活動の賜物です。しかしながら、この改定に甘んじていることはできません。介護、医療のみならず、その他の職域の方々の活動も、政策にきちんと位置づけていくためには、管理栄養士・栄養士は、引き続き、栄養政策の二重負荷を解決し、栄養政策に貢献する必要があります。さらに、管理栄養士・栄養士は、持続可能な開発目標（SDGs）への貢献、食料システムやグリーンリカバリーへの対応、Society5.0社会やグローバル社会への対応等、時代の変化や環境対応できる力が求められています。そこで、日本栄養士会研究教育センターは、その創設に向け、今後の管理栄養士・栄養士の目指すべき姿を考え、教育及び人材育成のシステムを大幅に変更する必要があるのではないかと考え、立候補いたしました。					
職歴	【業績】 ・日本栄養士会雑誌論文委員会委員（2010-2011） ・東日本大震災災害支援 ・臨地・郊外実習マニュアル（2014年版）改定検討ワーキング委員 ・新卒会員増対策の検討・実施 ・日本栄養士会研究教育センターとして、管理栄養士・栄養士の就業実態調査と論文作成の推進（日本栄養士会雑誌に2件掲載） ・日本栄養士会副会長として各種事業に関与（研究教育センター創設準備、日本栄養士会長中期計画の検討、診療報酬、介護報酬改定WG参加、各種、人材育成事業の検討、栄養サミットコミットメントの検討、ACD2022プログラム編成等） 【会員・役員歴】 ・新潟県研究教育専門委員（2003-2005） ・新潟県栄養士会理事（2006-2010） ・新潟県栄養士会常任理事・副会長（2010-2014） ・全国研究教育協議会幹事（2008-2012） ・全国研究教育事業部企画運営委員（2012-2014） ・日本栄養士会理事（2014-2019） 全国研究教育事業部企画運営委員長（職域理事） ・日本栄養士会常任理事（2019～現在に至る） （日本栄養士会研究教育センター創設準備委員）							
業績								
立候補の抱負								

◎ 一般 理事 連任 決議 分野 候補者		届出番号	※ 10	ふりがな 氏 名	かとうすみこ 加藤すみ子 (満58歳)	性別	男・女	
		勤務先	名称 NPO法人 布紗 〒 970-8034 福島県いわき市平上荒川字桜町1-1 あらたな内いっただれkitchen TEL 090-6252-9793					
		所属都道府県 栄養士会	福島県 栄養士会	会員 番号	0 0 7 0 1 5 2 6	所属職域	福祉	
		【職歴】	2018年度より福祉職域担当理事を2期務め、2度の介護と障害の報酬改定に関わらせていただきました。介護分野においては、令和3年度介護報酬改定において、介護保険施設の人員基準に管理栄養士が明記され、施設での栄養管理が義務付けられるなど、これまでの介護現場における栄養ケアの実態形成が評価された形となりました。今後は、質の高い栄養ケア・マネジメントを全国で展開できるよう、更なる組織強化をしながら皆さまのバックアップをしていきたいと考えております。 さて、介護分野は規模も大きく体制も整ってききましたが、障害と児童分野の「栄養」はまだ未開発の状態です。私自身が医療、介護、障害の現場を経験してきたこともあり、障害児・者の「栄養」を何とかしたい、という思いはこの2期の間により一層強くなりました。 先天的、後天的に何らかの障害を持ってしまったとしても、就学前から就学、成人とライフステージが進む過程において「食と栄養」のサポートを受けられるような仕組みは絶対に必要です。そして、2040年を目途とした「地域共生社会」の構築を進める中でも、医療から保育、学校、就労先などの栄養情報を繋いでいくことは、国民の健康で豊かな生活の実現に寄与できるものと考えております。 地域における管理栄養士・栄養士の活躍の場が広がるよう、これまでの職域での経験を基に、一般理事として活動させていただければ幸いです。					
職歴	1988～1992年 石井脳神経外科・眼科病院 2001～2008年 介護老人保健施設 サンライフゆもと 2009～2020年（社福）いわき福音協会 福島整肢療護園（重心・肢体） はまなす荘（障害者支援施設） つばさ（就労支援A型） 【業績】 特になし 【会員・役員歴】 1988年より会員 2012～2019年 福島県栄養士会理事 2017年 日本栄養士会 福祉職域担当理事代理 2018～2021年 日本栄養士会福祉職域担当理事							
業績								
立候補の抱負								

◎ 一般 理事 連任 決議 分野 候補 者		※	ふりがな	なかむら ていじ	性別	男	
		届出番号	11	氏名			中村 丁次 (満73歳)
		勤務先	名称 神奈川県立保健福祉大学 〒 238-8522 神奈川県横浜須賀野市平成町1-10-1 TEL 046-828-2503				
		所属都道府県 栄養士会	神奈川県 栄養士会	会員 番号			01400751
職 歴 ・ 業 績 ・ 会 員 ・ 役 員 歴		【職歴】 昭和47年 徳島大学医学部栄養学科卒 新宿医院 昭和50年 聖マリアンナ医科大学病院栄養部 昭和62年 聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 平成11年 聖マリアンナ医科大学病院栄養部 平成15年 神奈川県立保健福祉大学 【業績】 卒業後、病院栄養士として、病院給食の改善、栄養相談室の設置、管理栄養士の臨床領域への進出等に尽力した。特に、2000年の法改正の際、21世紀における管理栄養士の具体的姿を提言し、栄養アセスメントや栄養管理の意義や具体的方法を示し、その普及活動に努めた。2008年、横浜での「国際栄養士会議ICD2008」では、組織委員長として会の運営にあたり、国内外から高い評価を受け、翌年観光庁より表彰された。国の栄養に関する各種委員会の委員を担い、厚労省の「日本人の長寿を支える「健康な食事」の在り方を考える検討会」では座長を務め、「食育基本法」や「保健指導」、さらに「臨床栄養管理」等の設立に尽力した。2003年以降は、神奈川県立保健福祉大学の教員になり、経験した実践活動を基盤に管理栄養士養成や栄養学研究に取り組み、2011年から学長として保健医療福祉系大学の運営にあたっている。大学では、ヒューマンサービス理念とした多職種連携の教育・研究を目指し、栄養の普遍性と専門性を高めてきた。高齢社会が必要とする地域・多領域連携、保健医療福祉の包括化に対応できる人材養成を目指し、管理栄養士、栄養士が果たす役割の重要性を社会に示してきた。国際栄養士連盟の常任理事、アジア栄養士連盟の副会長としても貢献し、2021年12月に開催された「東京栄養サミット2021」ではハイレベルセッションで、世界の栄養不良の撲滅に貢献するコミットメントを発表し、サブイベントでは「Japan Nutrition」と称して、日本の栄養士制度や栄養改善の成果を発信した。【会員・役員歴】 1977年 日本栄養士会会員入会 2004～2012年、2018～2022年 日本栄養士会会長	近年、少子高齢社会の到来、地球規模で起こる環境変化、さらに今回の新型コロナウイルスの感染爆発等により、栄養は、従来のように保健、医療、福祉に限定される課題ではなく、教育、労働、経済、ジェンダー、環境等にも影響を与えることが明らかになってきた。SDGsや東京栄養サミットに取り組むことにより、栄養問題は益々複雑で、多様化し、その解決には、高度な知識や技術が必要であることも解ってきた。2000年の法改正以降、日本の栄養は、人間栄養学を基盤とした教育、研究、実践に変革され、管理栄養士、栄養士の役割も大きく変わった。このことにより、現在の高齢社会においても、人々の健康と幸せに貢献できるようになってきた。しかし、全ての管理栄養士、栄養士の意識変革ができていくわけではなく、同様に高いレベルの専門職になって希望通りの職場で勤務しているわけではない。今回の新型コロナウイルス、環境問題、さらにウクライナ問題に端を発した国際緊張は、栄養の課題をさらに拡大かつ深刻化し、より強固な志を持った優れた管理栄養士、栄養士の養成が求められつつある。日本栄養士会への期待は、過去に類をみない程大きい。8月のアジア栄養士会議、12月の国際栄養会議、医療・介護の同時改訂、管理栄養士・栄養士の処遇改善、栄養ケアステーションと教育・研究センターの創設、会員増対策、組織改正、新領域の活性化、生涯教育、AIやロボット化が進むSociety 5への対応、地域包括ケアへの取り組み、多職種・領域連携協働の推進、個別化栄養管理の推進、栄養ケアプロセスと栄養診断の体系化、さらに東京栄養サミットでのコミットメントの実現等、日本栄養士会には多くの宿題が残されている。これらの宿題を片付けるためには、組織の質的、量的改善が必要であり、その一助になればと思い、今回、再び立候補することを決めた。会員の皆さんの力により、日本のみならず世界の人々から信頼され、尊敬される日本栄養士会に成長することを願っている。				

◎ 一般 理事 連任 決議 分野 候補 者		※	ふりがな	おかもとともこ	性別	男・女	
		届出番号	12	氏名			岡本智子 (満62歳)
		勤務先	名称 札幌保健医療大学 保健医療学部 栄養学科 〒 007-0894 札幌市東区中沼西4条2丁目1番15号 TEL 011-792-3350				
		所属都道府県 栄養士会	北海道 栄養士会	会員 番号			00401906
職 歴 ・ 業 績 ・ 会 員 ・ 役 員 歴		【職歴】 昭和57年4月 医療法人同済病院（老人・特養老人ホーム 併設）昭和58年4月 宮城県立成人病センター（現在宮城県立がんセンター） 昭和60年4月 国立宮城工業高等専門学校 学生課 平成11年4月 東北大学病院医学部附属病院栄養管理室 平成14年4月 東北大学病院医学部附属病院栄養管理室 副室長（平成19年医学法上の名称を東北大学医学部附属病院より東北大学病院と名称変更となる） 平成19年4月 東北大学病院 栄養管理室 室長 診療技術部 栄養管理部門 部門長 平成24年4月 栄養サポートセンター副センター長 平成25年4月 東北大学病院 診療技術部 副部長 栄養管理部門 部門長 栄養管理室 室長 栄養サポートセンター副センター長 平成31年4月札幌保健医療大学 保健医療学部栄養学科准教授 令和3年4月 同大学 教授（現在に至る） 【業績】学術評議員（日本病態栄養学会・日本臨床栄養代謝学会（旧日本静脈経長栄養学会）・日本摂食嚥下リハビリテーション学会・日本肥満症治療学会）平成19年宮城県栄養士会会長表彰 平成29年度仙台市保健所公衆衛生関係功労者食育推進表彰 平成30年度仙台市公衆衛生関係功労者食育推進表彰 令和元年日栄会長表彰 【会員・役員歴】平成6年から会員 平成28年度令和元年度県栄養士会理事（平成28年度～）日本栄養士会理事（平成30年度令和元年度）令和2年度令和3年度日本栄養士会常任理事 学術研究事業部長 日本栄養士雑誌編集委員長	私は2018年度より日本栄養士会の理事として情報コミュニケーション事業部に所属し、2020年度からは常任理事として学術研究事業部長、日本栄養士雑誌編集委員長を務めて参りました。その中で私は、情報を新鮮なうちに届けること、相手の話を聞いてニーズを共有し、その解決に向けて双方向で関わることを大切にして来ました。日本栄養士雑誌も、昨年の会員のみなさまへのアンケート結果を反映するような方向とし、よりニーズに合った情報が提供できるようになったのではないかと思います。私の強みは、みんなで楽しんで前に進めるように、人と人とのつながりを作るためのコミュニケーションスキルです。一緒に学んだり、アウトプットしたり、頑張ってきたことを承認したり、チャレンジすることを応援し合う仲間がいたら、人は安心でき、たくさんのエネルギーがわいてきます。こうした思いを同じくする仲間同士の拠り所となるのが、日本栄養士会ではないかと思っています。私の強みを活かし、例えば非対面でも現場で働く管理栄養士、栄養士の集まる場を作りたいと考えます。現在管理栄養士の養成大学に勤務していますが、未来の管理栄養士を育て、安心して管理栄養士・栄養士の仲間の中へ入っていける道を作っていくことも必要だと考えます。これからも管理栄養士・栄養士がその専門性を十分に活かしてそれぞれの分野で活躍できるような環境整備と仕組み作りを精一杯取り組んで参ります。				

◎ 一 般 理 事 選 任 決 議 分 野 候 補 者		届出番号	※ 13	ふりがな 氏 名	すずきしほこ 鈴木志保子 (満56歳)	性 別	男 ・ ㊟	
		勤 務 先	名称 公立大学法人 神奈川県立保健福祉大学 〒 238-8522 神奈川県横須賀市平成町1丁目10番1 TEL 046-828-2658					
		所属都道府県 栄養士会	神奈川県 栄養士会	会員 番号	0 1 4 0 5 3 5 0	所属職域	研究教育	
		【職歴】 2000年～2003年 国立鹿屋体育大学助教授 2003年～2009年 神奈川県立保健福祉大学助教授 (2007年4月より准教授、大学院兼務) 2009年～2021年 公立大学法人 神奈川県立保健福祉 大学(大学院兼務)教授 2021年～現在 同大学 栄養学科長 【業績】 2009年～2015年 NPO法人 日本スポーツ栄養学会会長 (2009年～2013年研究会) 2009年 NPO法人 日本栄養改善学会学会賞受賞 2015年～現在 (公財)日本体育協会 スポーツ医・科 学専門委員会委員 2017年～2019年 公益財団法人 東京オリンピック・ パラリンピック競技大会組織委員会「飲食戦略検討 会議」委員、「東京2020大会メニューアドバイザー リー委員会」副座長 2017年～現在(公財)日本バラスポーツ協会日本パラ リンピック委員会女性スポーツ委員会委員 2018年～現在 (一社)日本スポーツ栄養協会理事長 2012年～現在 厚生労働省や文部科学省等の検討会構 成員等を多数務めている。 2021年に開催した東京2020パラリンピック競技大会 において、サポートした車いすバスケットボール男子 チームは銀メダル、水泳選手は金メダル2、銀メ ダル7、銅メダル3を獲得した。 【会員・役員歴】 2004年～現在 日本栄養士会 会員 2014年～現在 日本栄養士会 理事 2016年～2018年 日本栄養士会 情報コミュニケー ション事業部副部長 2018年～現在 日本栄養士会 常任理事 情報コミュニ ケーション事業部部長 2018年～現在 日本栄養士会 副会長						
職 歴 ・ 業 績 ・ 会 員 ・ 役 員 歴	理事として8年、副会長として4年が経ちます。 今期2020年～2021年は、コロナ禍によるさまざまな 事業の中止・延期・変更などの対応、日本栄養士会 として提供すべき情報の収集・発信、診療・介護報 酬の改定に伴う活動、Society5.0に向けての検討と その周知、東京2020オリンピック・パラリンピック 競技大会、東京栄養サミットなど、都道府県栄養士 会と連携・ご協力をいただきながら進めることがで きました。ありがとうございました。適応力・対応 力・考察力・推察力・予測力・総合的な判断力が必要 な2年間であり、できる限り実行・実施するととも に、たくさんの勉強と貴重な経験を積むことがで きました。 感染症という見えない敵と向き合うことは、映画 の世界での話であって現実には起こらないと考えてい たことが今では驚きとなっています。また、戦争も 現実として起こることなのだと切実に感じていま す。これからは、何が起こるか分からない状況にあ ると認識するとともに、どんな状況にあっても栄養 素を補給しなければ生きていけないことから、管理 栄養士・栄養士の仕事は尽きないと考えます。そこ で、今後、国や国民から求められる管理栄養士・栄 養士は、さまざまな状況を的確にとらえ、策を考え て、対応・適応・実行できる人材であるといえま す。 社会変化の中で、2022年からの2年間、日本栄養 士会は、職能団体において重要な活動である政策集 団としての機能を強化しなくてはなりません。その ための組織改編なども進めていく必要があると考え ます。足元をしっかりと見定めながら、管理栄養士・ 栄養士の将来に向けて前進する覚悟をもって理事に 立候補します。							

2. 職域理事選任決議分野候補者

◎ 職域 理事選任決議分野候補者		届出番号	※ 1	ふりがな	さの ちえみ	性別	男・ ☒ 女	
		氏名	佐野 ちえみ (満64歳)					
		勤務先	名称 全国料理学校協会会員校 とも料理教室 〒 410-3514 静岡県賀茂郡西伊豆町仁科80-5 TEL 0558-52-0541					
		所属都道府県 栄養士会	静岡県 栄養士会	会員番号	0 2 2 0 2 9 3	所属職域	地域活動	
職 歴 ・ 業 績 ・ 会 員 ・ 役 員 歴	【職歴】 1978年4月～1981年3月 学校法人 鈴木学園勤務 1985年5月～現在に至る 全国料理学校協会 とも料理教室 1985年5月～現在に至る 西伊豆町・登録在宅管理栄養士 2006年1月～2008年7月 医療法人 あまね会はたの内科勤務 2007年2月～現在に至る 田子診療所 非常勤管理栄養士 2010年4月～現在に至る 静岡県立松崎高等学校 非常勤講師 【業績】 平成21年11月 日本栄養士会 会長特別表彰 平成22年9月 日本栄養士会 会長表彰 平成27年10月 静岡県知事功労別表彰2016 平成28年10月 厚生労働大臣表彰 【会員・役員歴】 2002年6月～2008年5月 静岡県栄養士会理事 2004年6月～2008年5月 静岡県栄養士会地域活動事業部長 2008年6月～現在に至る 日本栄養士会地域活動日本栄養士会地域活動事業推進委員 2018年～ 現在に至る 日本栄養士会食物アレルギー管理栄養士・栄養士認定委員 2016年6月～現在に至る 日本栄養士会地域活動事業推進副委員長			地域活動職域は開業や、特定の組織に属さずフリーランスで働いている管理栄養士と栄養士が多く所属しております。コロナ禍で活躍する場が減り、大変苦労をしている会員が多くて胸が痛くなります。 地域が望む活動に寄り添い「かかりつけ管理栄養士・栄養士」となる会員を増やしたいと考えております。また、顔の見える栄養士の普及拡大を目指して次のような内容を推進していきたいと思っております。 ・開業管理栄養士・栄養士の推進と栄養ケア・ステーション（都道府県栄養士会）の登録と認定栄養ケア・ステーションの申請への働きかけを促進する。 ・国民の疾病予防の推進と特定保健指導への参画を推進する。 ・地域包括ケアシステムに参画を推進して介護予防のために栄養と食事の技術を普及する。 ・出生前から生涯を通じての食事支援を行いその為には行政との連携を強化する。 以上を推進すると共に会員増を目指したいと考えております。また、地域活動各都道府県リーダーの育成と都道府県の会員の活動内容を早急に把握し組織強化に繋げる事が必要だと考えております。 楽しい仕事ができ、周りから見ても輝いて見える地域活動を目指し、活躍できる場が増える事を願い務めさせていただきたいと思っております。				

◎ 職域 理事選任決議分野候補者		届出番号	※ 2	ふりがな	あらい ひでかず	性別	☒ 男・女	
		氏名	新井 英一 (満50歳)					
		勤務先	名称 静岡県立大学 食品栄養科学部 〒 422-8526 静岡県静岡市駿河区谷田52-1 TEL 054-264-5511					
		所属都道府県 栄養士会	静岡県 栄養士会	会員番号	0 2 2 0 4 4 6	所属職域	研究教育	
職 歴 ・ 業 績 ・ 会 員 ・ 役 員 歴	【職歴】 平成12～16年 徳島大学医学部栄養学科 助手 平成16～19年 徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部 助教：名称変更 平成19～30年 静岡県立大学食品栄養科学部 准教授 平成30年4月～ 静岡県立大学食品栄養科学部 教授 【業績】 平成30年 日本栄養士会会長表彰 【会員・役員歴】 2003年6月 入会 2012年6月 静岡県栄養士会 研究教育事業部理事（～平成28年6月） 2016年6月 静岡県栄養士会 副会長（～現在） 2014年6月 日本栄養士会 研究教育事業部企画運営委員（～現在） 2016年6月 日本栄養士会 生涯教育委員会委員（研究教育事業部委員）（～現在） 2020年6月 日本栄養士会 研究教育事業部 職域担当理事（～現在）			令和2年度より研究教育事業部委員長および理事として、本事業部の活性化のみならず、他事業部との連携を図りながら、日本栄養士会の発展に努力をして参りました。 今期、研究教育事業部においては、臨地実習・校外実習の在り方2014年版の改訂を目指し、また養成校教員の研究教育環境の整備などを目指し、事業を展開して行きたいと考えています。さらに、他職域と連携した研究基盤の構築やエビデンスの還元に力を尽くしたいと考えています。 世界が掲げるSDGs（持続可能な開発目標）をしっかり見据え、多様化に適応する専門職ならびに組織（人材育成）が、これからの社会に求められていると感じています。そのために、社会・会員のニーズに応え、変革しながら、全身全霊をかけて任務遂行に努めていきたいと思っております。				

◎ 職域 理事選任決議分野候補者		※	ふりがな	はら じゅんや	性別	男・女	
		届出番号	3	氏名			原 純也 (満50歳)
		勤務先	名称 日本赤十字社 武蔵野赤十字病院 〒 180-8610 東京都武蔵野市境南町1-26-1 TEL 0422-32-3111				
		所属都道府県 栄養士会	東京都 栄養士会	会員番号	0 1 3 0 2 8 3 3	所属職域	医療
職歴 業績・会員・役員歴	【職歴】平成4年～平成9年国内フードサービス（株） 平成9年～平成11年多摩丘陵病院 平成11年～平成13年国内フードサービス 平成13年～平成24年多摩丘陵病院 平成24年～武蔵野赤十字病院 【業績】10年永年表彰 【会員・役員歴】 平成19年入会 平成20年～東京都栄養士会医療部会 役員 平成22年～24年 東京都栄養士会 幹事 医療部会事業部長 平成24年～ 日本栄養士会医療事業部企画運営委員 平成26年～東京都栄養士会 理事（～28年事業部長） 平成28年～30年 日本栄養士会医療事業部企画運営副委員長 平成30年～ 日本栄養士会医療事業部企画運営委員長（現事業推進委員長） 日本栄養士会 医療職域担当理事			平	平成30年度より、医療担当理事を拝命いたしました。この時期での大きな成果として、令和2年度及び4年度と診療報酬改定におきまして、会員の皆さんの多大なるご協力もあり、管理栄養士の業務やスキルに関して、評価に繋げることができました。また特定機能病院のみではありませんが、管理栄養士の病棟配置に関する評価やがん病態栄養専門管理栄養に関する評価も新設され、医療職域におけるビジョンを推進することができました。2022年では2024年のいわゆる同時改定への地盤構築はできたと思います。2024年度の同時改定に向けて、医療や介護及び栄養ケア・ステーション・人材育成とも更なる連携の推進や情報共有に努め参りたいと思います。また、常任理事業務としては職域統轄事業部会長を拝命し、この2年間で各職域担当理事や職域の副委員長とともに職域統轄事業部会を開催し、政策集団としてあるべき姿の議論を重ねてまいりました。職域の活性化とともに会員増対策を職域の立場から検討し、少しずつではありますが職域横断の連携が進められております。引き続き進めていくことで1つでも多くの事項の目的達成・課題解決に努めてまいりたいと思います。		
	立候補の抱負						

◎ 職域 理事選任決議分野候補者		※	ふりがな	なかだ ともこ	性別	男・女	
		届出番号	4	氏名			中田 智子 (満55歳)
		勤務先	名称 栃木市大平学校給食センター 〒 329-4403 栃木県栃木市大平町蔵井2026-13 TEL 0282-43-2212				
		所属都道府県 栄養士会	栃木県 栄養士会	会員番号	0 0 9 0 0 4 6 9	所属職域	学校健康教育
職歴 業績・会員・役員歴	【職歴】昭和62年4月 栃木市立栃木東中学校 学校栄養士 平成 7年4月 栃木市立大宮北小学校 学校栄養士（平成11年4月から主任） 平成15年4月 都賀町立都賀中学校 主任（平成21年4月から栄養教諭） 平成25年4月 栃木市教育委員会副主幹兼指導主事（平成30年4月から課長補佐兼指導主事） 2020年4月 栃木市立大平中学校 栄養教諭 【業績】 ・文部科学省委託事業を都賀町で3年間受託 ・「地産地消の仕事人」に選定（農林水産大臣） ・学校給食における食物アレルギー対応指針作成委員（文部科学省） ・第57回 全国栄養教諭・学校栄養職員研究大会 第4分科会 指導助言者（主催 文部科学省等） ・第58回 全国栄養教諭・学校栄養職員研究大会 第8分科会 指導助言者（主催 文部科学省等） ・第60回 全国栄養教諭・学校栄養職員研究大会 第8分科会 指導助言者（主催 文部科学省等） ・衛生管理協力者（文部科学省） ・平成21年 ちぎ教育賞（栃木県教育委員会） ・平成23年 優秀教員表彰（文部科学大臣） 【会員・役員歴】 ・栃木県栄養士会学校健康教育協議会会長（平成20年4月～平成22年3月） ・日本栄養士会学校健康教育事業部企画運営委員（平成26年4月～現在） 推進委員長（平成30年総会～現在） ・日本栄養士会特定分野食物アレルギー管理栄養士・栄養士 認定制度副委員長（平成30年4月～令和2年委員長～現在） ・日本栄養士会理事（平成30年総会～現在） ・日本栄養士会雑誌企画委員（平成30年総会～現在） ・日本栄養士会ホームページ委員会委員長（令和3年4月～現在）			立候補の抱負	学校における栄養教諭（管理栄養士・栄養士）が、児童生徒に寄り添える時間や人的配置等のシステムを構築し、給食管理と食に関する指導を一体的に行うことで、児童生徒の生涯にわたる健康、命、幸せに貢献できるように努めていきます。 また食物アレルギー分野管理栄養士・栄養士の認定制度について、食物アレルギー疾患による事故の防止と食物アレルギー疾患の治療に適うとともに、栄養学上適切でかつ良質な食事のあり方を保ちうる給食管理、栄養管理その他の栄養の指導を行ううえで必要にして十分な専門的で実務的な知識・技能があると認められる管理栄養士又は栄養士を認定し、もって、これら認定に係る管理栄養士及び栄養士の地域社会における活動をとおして食物アレルギー疾患を有する者の安全で豊かな食生活の実現に寄与することができるよう、認定者のフォローアップ体制を含めてより充実できるように努めていきます。 そして、日本栄養士会や各都道府県栄養士会と会員の取り組みや、新情報や有益な情報などを栄養士会雑誌やHPなどで発信共有、会員や管理栄養士及び栄養士以外の方にも情報を発信できるような企画に努めていきます。		
	立候補の抱負						

◎ 職域 理事選任決議分野候補者		届出番号	※ 5	ふりがな	もといえ れいこ	性別	男・ ☒ 女
		氏名	元家 玲子 (満55歳)				
		勤務先	名称 社会福祉法人三恵会 介護老人保健施設 希望の館 〒 791-0311 愛媛県東温市則之内甲2783-1 TEL 089-960-6336				
	所属都道府県 栄養士会	愛媛県 栄養士会	会員番号	0 3 8 0 1 1 4 9	所属職域	福祉	
職歴・業績・会員・役員歴	【職歴】		令和3年度介護報酬改定をきっかけに介護保険施設に勤務する管理栄養士の働き方が注目されるようになりました。1人職場の多い福祉施設の管理栄養士・栄養士の現場に今、新しい風が吹いています。高齢・障害・児童のそれぞれの職場で直面している課題は山積していますが、全国で働く管理栄養士・栄養士の皆様がそれぞれの地域で活躍し、自らの仕事にやりがいを持てるように道を開いていく所存です。				
	【業績】		高年齢分野では栄養ケア・マネジメントの更なる充実を図るため経験年数に応じたスキルアップ研修を全国展開し、加算の算定率アップを目指します。障害分野では複雑多岐に渡る障害児者に対する栄養ケア・マネジメントの確立を目指します。児童分野では成長・発達に応じた栄養ケアの必要性の高まりを受け、管理栄養士・栄養士が活躍できる場を広げていきます。				
	【会員・役員歴】		1989年4月～1991年3月 医療法人雙立会 傾心館病院 1991年5月～1992年7月 株式会社森乳クリニック 1992年8月～1999年3月 国立病院機構愛媛病院 2000年7月～2003年12月 有限会社ヘルシーブラネット 2004年1月～2009年3月 独立行政法人国立病院機構 愛媛医療センター 2009年4月～現在 介護老人保健施設希望の館 1989年～1991年 (公社) 徳島県栄養士会 会員 1991年～現在 (公社) 愛媛県栄養士会 会員 2019年～現在 (公社) 愛媛県栄養士会 理事				

◎ 職域 理事選任決議分野候補者		届出番号	※ 6	ふりがな	もろおか あゆみ	性別	男・ ☒ 女
		氏名	諸岡 歩 (満50歳)				
		勤務先	名称 兵庫県保健医療部健康増進課 〒 650-8567 神戸市中央区下山手通5丁目10番1号 TEL 078-362-3249				
	所属都道府県 栄養士会	兵庫県 栄養士会	会員番号	0 2 8 0 3 0 9 2	所属職域	公衆衛生	
職歴・業績・会員・役員歴	【職歴】		「誰一人取り残さない栄養政策の推進」に向け、保健・医療・介護の各領域の管理栄養士・栄養士による相互連携や他(多)職種連携の強化、地域ネットワークの構築など、「点」ではなく「面」での取り組みを積極的に行うことが望まれます。また、SDGsの推進には、1つの目標のみを目指すのではなく、目標間の相互の関わりを意識し、見えにくいと言われる公衆栄養活動をSDGsの枠組みで整理し、意味付けし、発信することも、果たすべき役割と責任であると思っています。				
	【会員歴】		1994年～現在 兵庫県栄養士会会員(28年)				
	【役員歴】		(兵庫県栄養士会) 2008年～2009年 東播磨地域委員 2014年～2017年 理事 2020年～現在 監事 (日本栄養士会) 2016年～2017年 公衆衛生事業部委員 2018年～2019年 公衆衛生事業推進委員会副委員長 2020年～現在 公衆衛生事業推進委員会委員長 日本栄養士会理事 日本栄養士会総務部副部長 " JDA-DAT運営委員				

◎職域 理事選任決議分野候補者		届出番号	※ 7	ふりがな	こくぶ はこ	性別	男・ ☒ 女						
		氏名	國分葉子 (満62歳)										
		勤務先	名称 エームサービス株式会社 〒107-0052 東京都港区赤坂2-23-1 アークヒルズフロントタワー19F TEL 03-6234-7537										
	所属都道府県 栄養士会	東京都 栄養士会	会員 番号	0	1	3	0	2	3	8	9	所属職域	勤労者支援
職歴・業績・会員・役員歴	【職歴】 1982年大学卒業後「食」に関する数社の会社勤務 1996年～ シダックスフードサービス株式会社入社 2005年～ エームサービス株式会社入社 現在に至る												
	【業績】 東京都栄養士会) 職域運営委員 2002～2012年 2年 理事 2008～2019年 2年 広報部長 2008～2012年 2年 事業部長 2010～2012年 2年 職域部長 2010～2012年 2年 日本栄養士会) 職域運営委員 2006～2022年 2年 理事 2014～2022年 2年 職域運営委員長 2014～2022年 22年 特定保健指導担当管理栄養士 企画運営委員長 2016～2019年 19年 人材育成部運営委員 2014～2022年 年 栄養ケアステーション事業部 副部長 2020～2022年												
	日本で生活する人々を健康にする社会に貢献する事を目的とし、健康日本21(第二次)の目標達成のために活動をしてまいりました。 次期の活動からは、勤労者支援職域会員の広範な活動について、会員の事業領域を1. 食事提供領域 2. 製造流通領域 3. 栄養情報領域①②に分け既存の矯正グループと併せ活動の見える化をオンラインの利用でスピード感を持って進め、他職域事業との連携も進めてまいります。 会員数は、前年比10.4%と毎年微増をしております。活動の見える化でさらに給食関連企業、医薬品販売企業等の未会員の掘り起こしをし、新しい業界含めさらなる会員増を目指し活性化を目指します。 <2022・2023年活動方針> ○食環境整備、健康経営、特定保健指導、スポーツ栄養について継続して注力 ○認定栄養ケアステーション事業の理解、参画の推進 ○他職域事業、学会、団体との連携強化・開拓推進 ○会員増の強化と共に後継者育成環境の整備 以上の活動を全国の皆様と共に展開するべく、準備が整ってまいりました。どうぞよろしく願いいたします。												



公益社団法人

日本栄養士会